



～おたより～

第7回難聴学級担任等学習会の様子

12月21日水曜日、第7回は4校の先生方に本校に来ていただきました。難聴学級の取組についての実践例を聞きながら参加された先生方でそれぞれ1、2学期を振り返りました。3学期に向けて「これならできそう！」「どんな風にすれば楽しくできるかな？」など、様々な思いが頭の中に浮かんできたのではないのでしょうか。2学期も終わりにさしかかり、みなさんホッとする思いとともに、今後の指導に向けてキラキラとした表情で思いをめぐらせていらっしゃるように見えました。

「手作り手話じてん」がやってみたいなと思いました。みんなに自分の手話を分かってもらう環境を作るきっかけにしたいです。



自分のことで精一杯かもしれないけれど、自分にとって苦手なことや興味をもちにくいことでも、友だちといっしょにやってみようかなと、自ら関わっていけるようになってほしいなと思います。

2学期になって、「分からないことがある」「まちがえることもある」という先生や友だちの姿を見ることで、失敗してもいいんだという気持ちが出てくるようになったようです。

きこえや自分のことについて前向きに理解を深めていくためには、まずはのびのびと安心して生活を送ることができることが大切だと感じています。

< 情報提供 >

難聴学級の指導で大切にしてきたこと

・ことばの育ち・自己理解・理解啓発 など
そのために・・・

- 難聴理解かるたを使った活動
→かるた大会、クイズ
- 詩の取り組み（学年ごとに段階的な指導）
→思いを引き出し、ことばを結びつける
- 手作り手話じてんの取り組み
→季節のことば、学習で扱うことば
学校生活でよく使うことば など



「難聴学級って楽しい！」

「難聴学級からとびだしてみよう！」

「学校、地域をまきこんで！」

< 質問&感想コーナー >



○教育課程はどうしていますか？

→自立活動1～2時間、通常の教育課程

校内や地域の他の特別支援学級との交流も保護者や本人と相談して厳選する必要がある。

3年生から社会、理科、総合的な学習の時間もあるので、教科学習の時間の確保も大切になってくる。

○難聴理解かるたや詩を活用した自立活動、大変参考になりました。自立活動以外でも時間を見つけて是非やっていきたいです。

○子どもの実態が違うので悩みは違いますが、他の先生のお話を聞くことで「やってみよう」「考えてみよう」と思うことができました。

○いろいろなアイデアをお聞きすることができ、参考になりました。ロジャーについての情報も有り難かったです。

やっぱり会ってお話しできるっていいですね♡

令和5年1月11日 浜田ろう学校 スタッフ一同